



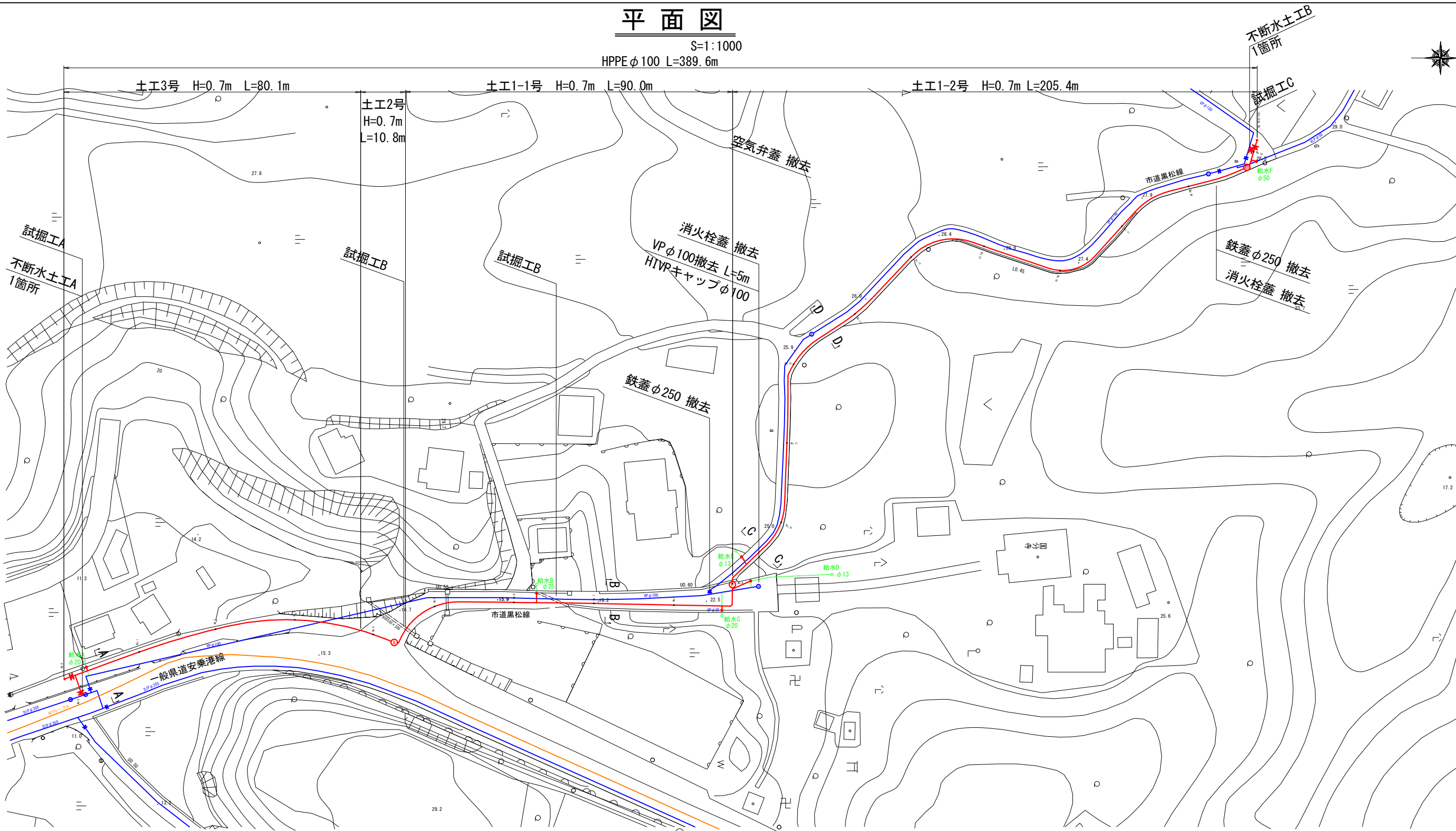
平成十六年十月

工 事 名	老朽管布設替工事(黒松線)		
施工箇所名	志摩市阿児町国府地内		
図面の種類	位 置 図		
縮 尺	1:50,000	図面番号	1
志 摩 市 上 下 水 道 部			



平面図

S=1:1000  
HPPEφ100 L=389.6m



標準横断面図

S=1:100

A-A断面

No. 0+12.0

B-B断面

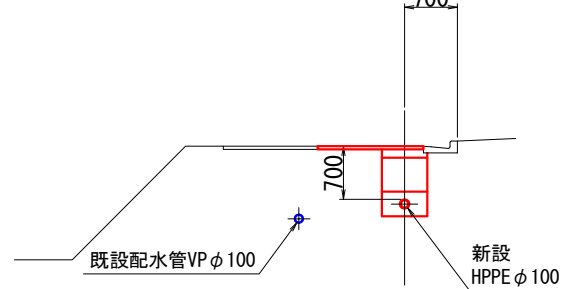
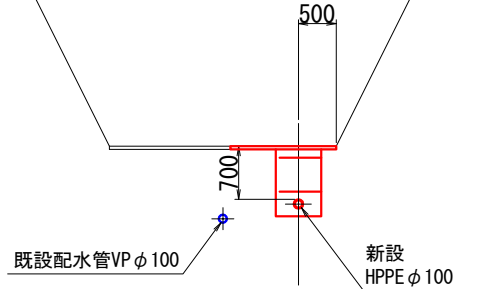
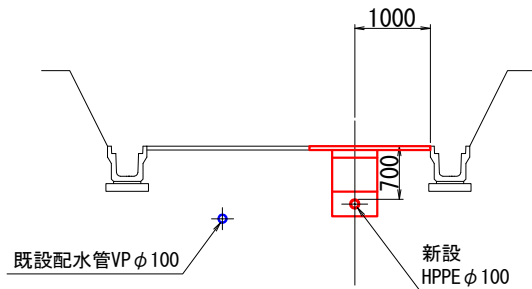
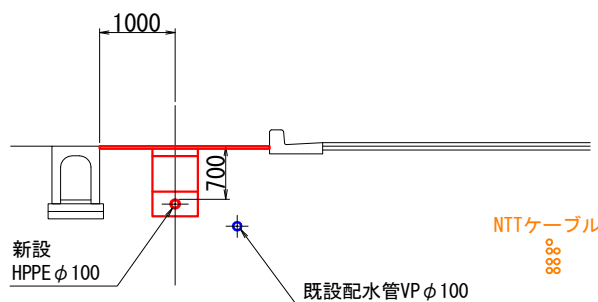
No. 7+5.5

C-C断面

No. 9+16.0

D-D断面

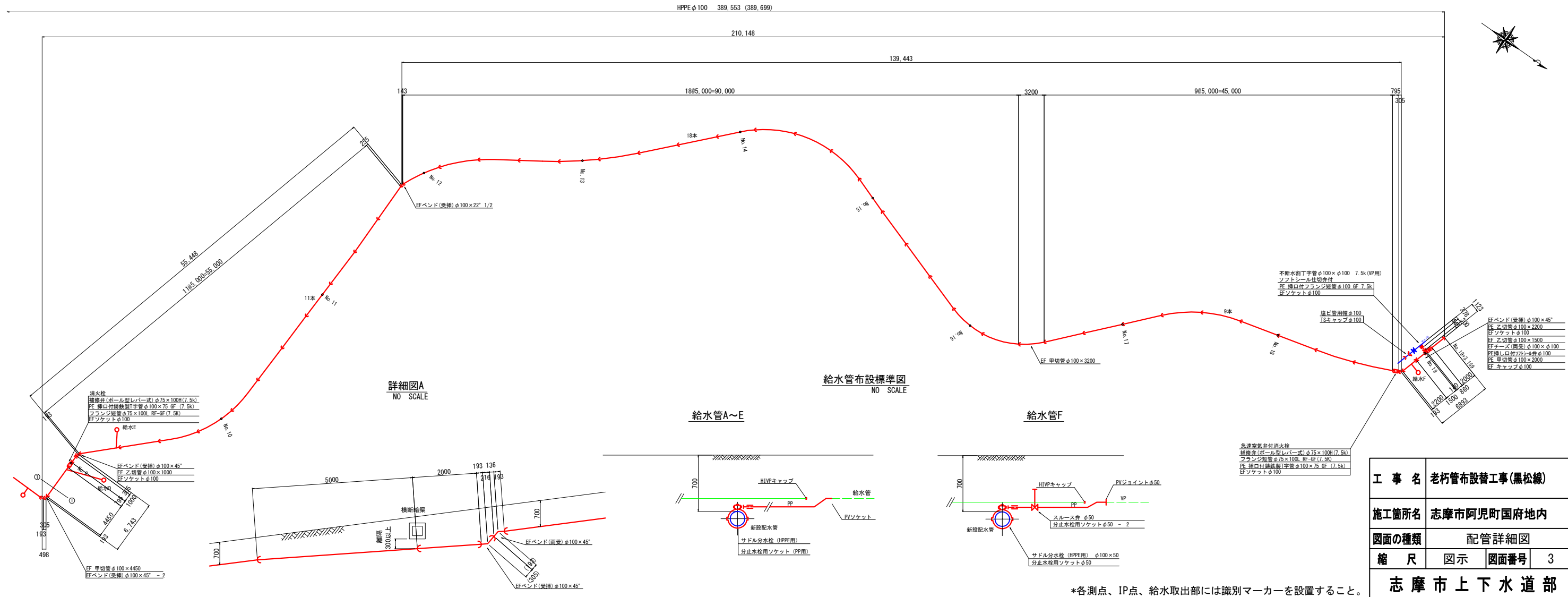
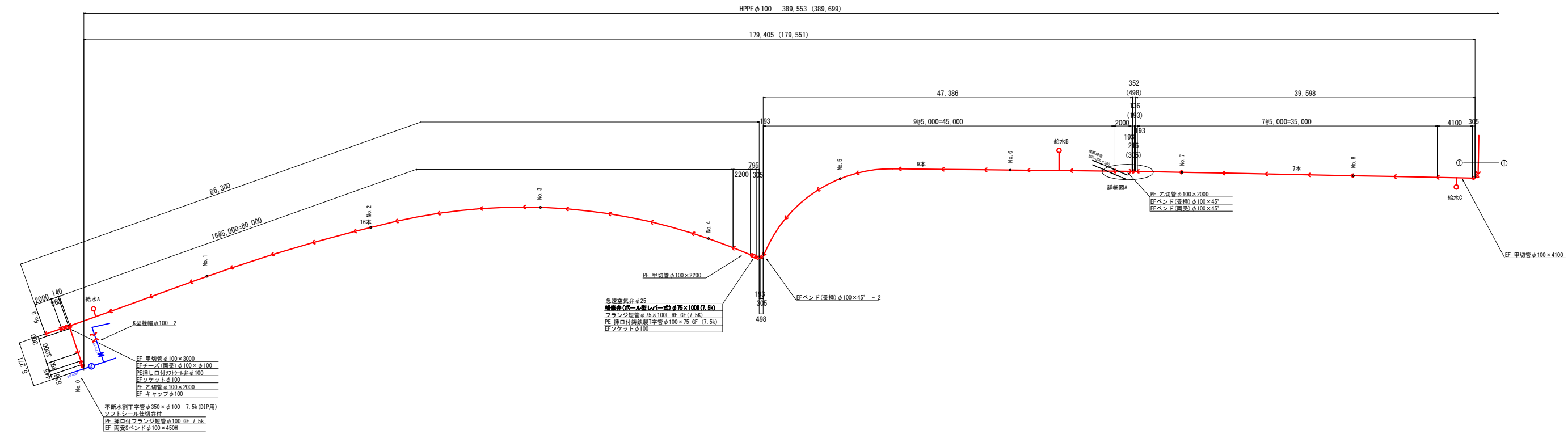
No. 12+14.0



工 事 名	老朽管布設替工事(黒松線)		
施工箇所名	志摩市阿児町国府地内		
図面の種類	平面図		
縮 尺	図示	図面番号	2
志 摩 市 上 下 水 道 部			

配管詳細図

S=1:500



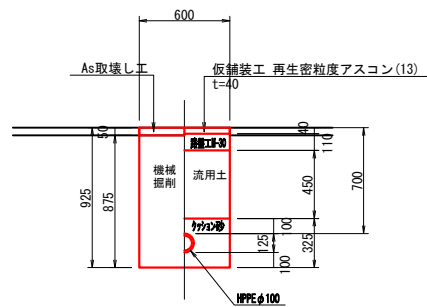
\*各測点、IP点、給水取出口には識別マーカを設置すること。

土工標準断面図

S=1:50

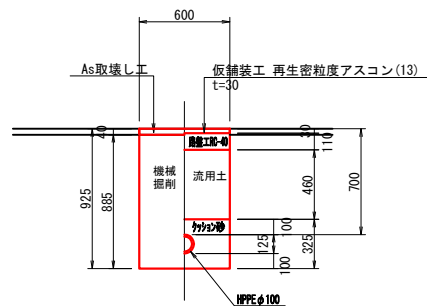
土工1-1号

市道(W≧5.5m)



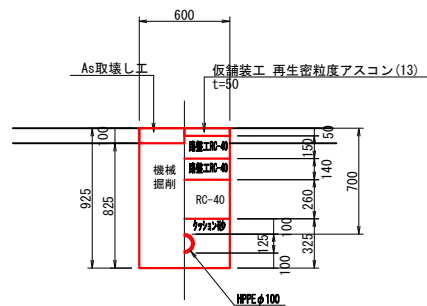
土工1-2号

市道(W<5.5m)



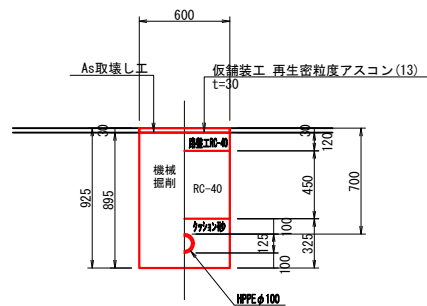
土工2号

県道(車道:安乗港線)



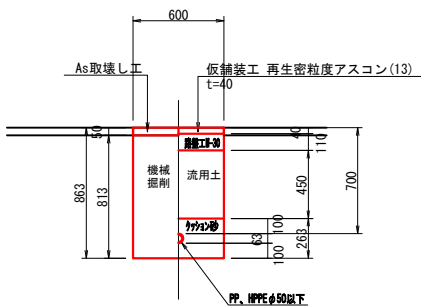
土工3号

県道(歩道:安乗港線)



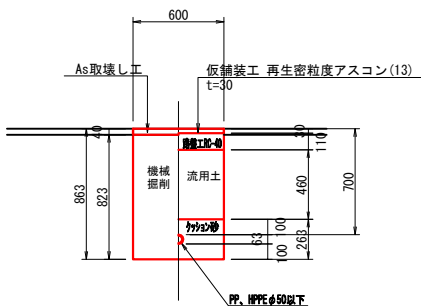
土工4-1号

市道(W≧5.5m)  
(給水)



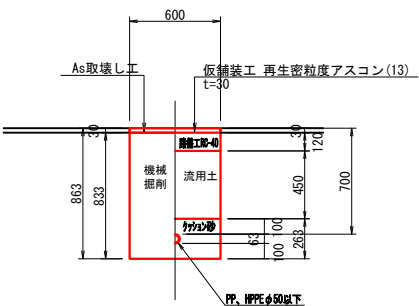
土工4-2号

市道(W<5.5m)  
(給水)

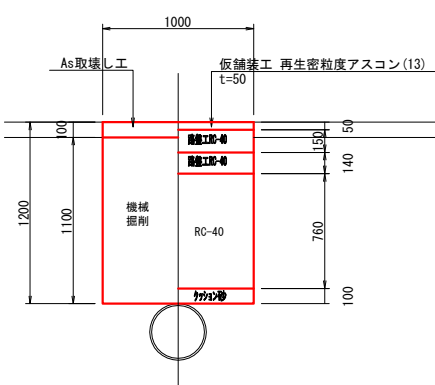


土工4-3号

県道(歩道:安乗港線)  
(給水)



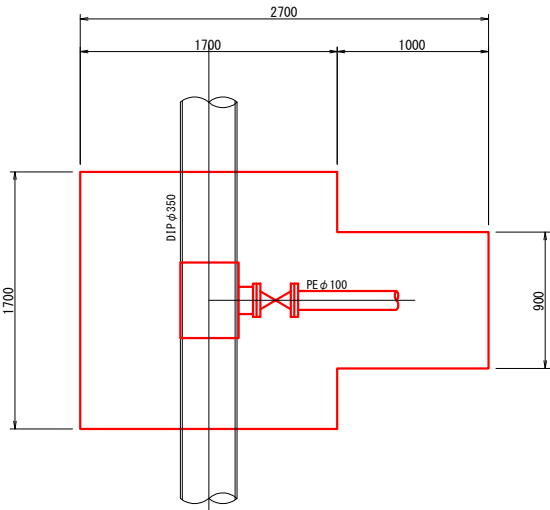
試掘工A



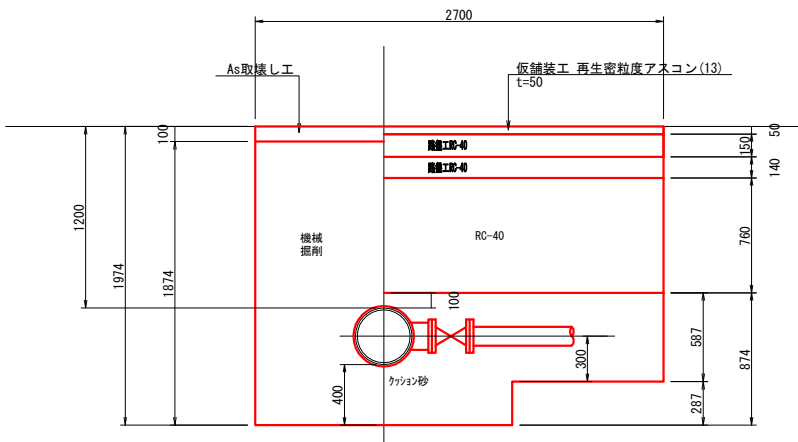
不断水土工A

DIPφ350×100

平面図



断面図

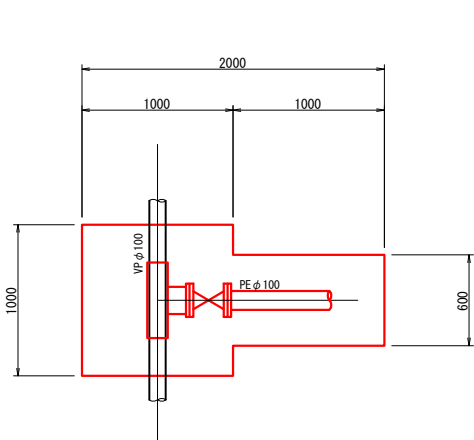


不断水土工

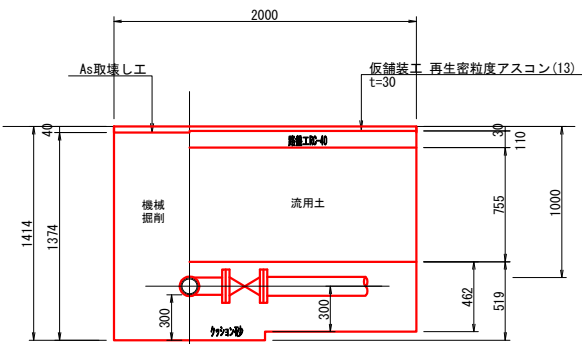
不断水土工B

VPφ100×100

平面図



断面図



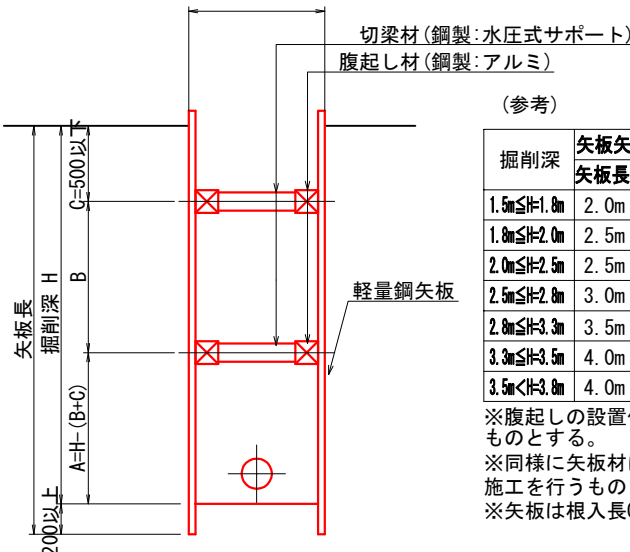
土留工標準図(参考図)

S=NO SCALE

土留標準図(参考)

軽量鋼矢板

掘削幅 W



切梁材(鋼製:水圧式サポート)  
腹起し材(鋼製:アルミ)

(参考)

掘削深	矢板矢板材			支保材	
	矢板長	厚み	段数	腹起し材	切梁材
1.5m≦H<1.8m	2.0m	3.5cm	1	軽量金属	水圧式サポート
1.8m≦H<2.0m	2.5m	3.5cm	1		
2.0m≦H<2.5m	2.5m	3.5cm	2		
2.5m≦H<2.8m	3.0m	3.5cm	2		
2.8m≦H<3.3m	3.5m	3.5cm	2		
3.3m≦H<3.5m	4.0m	3.5cm	2		
3.5m<H<3.8m	4.0m	3.5cm	3		

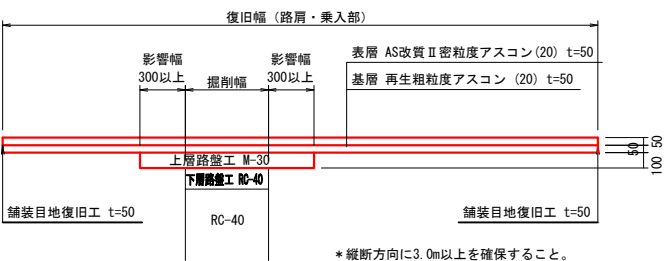
※腹起しの設置位置については、現場状況に応じ検討を行うものとする。  
※同様に矢板材についても、支保材を含めた検討を要しながら施工を行うものとする。  
※矢板は根入長0.2m以上を考慮すること。

路面復旧図

S=NO SCALE

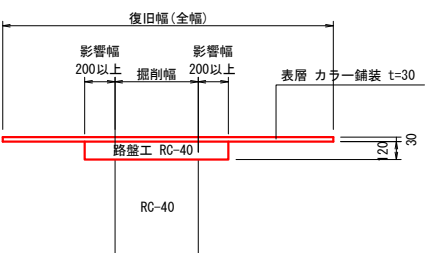
県道

(車道:安乗港線)



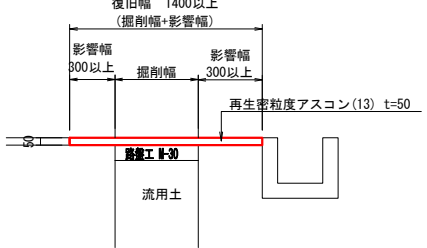
県道

(歩道:安乗港線)



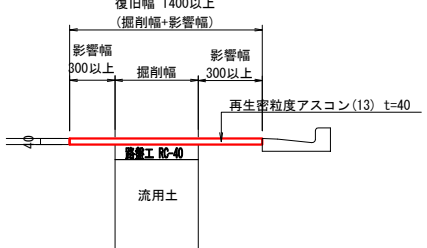
市道

(W≧5.5m)



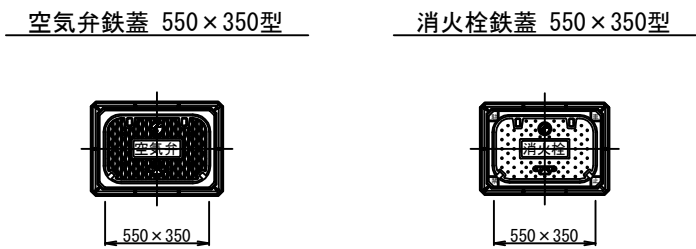
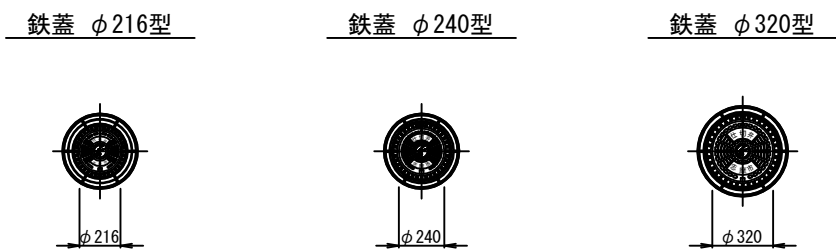
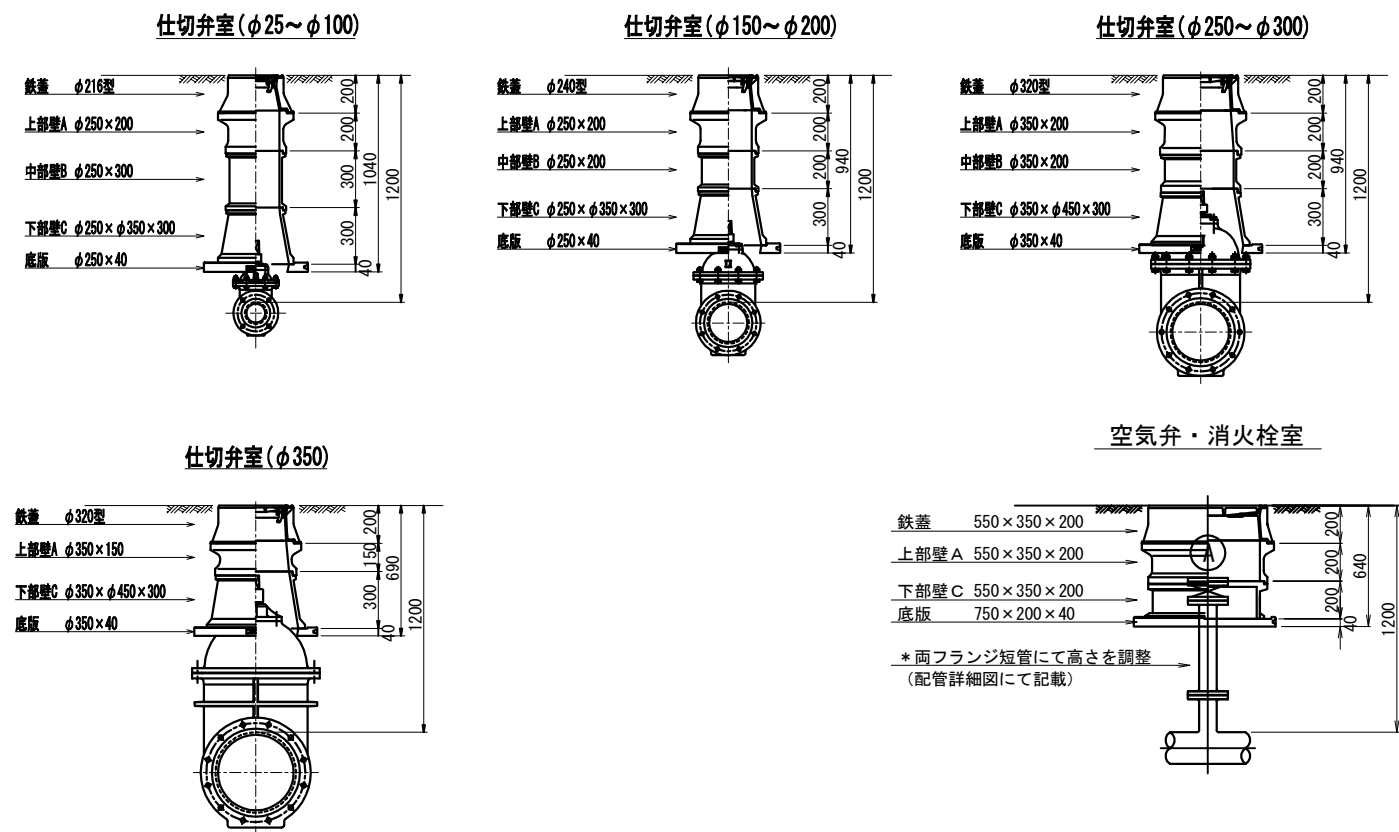
市道

(W<5.5m)



工事名	老朽管布設替工事(黒松線)		
施工箇所名	志摩市阿児町国府地内		
図面の種類	土工標準図		
縮尺	図示	図面番号	4
志摩市上下水道部			

弁室据付標準図  
S=1:40



消火栓蓋はカラー塗装とする。

空気弁室 (単口用)

H	鉄蓋	調整リング	上部壁A	中部壁B		下部壁C			下部壁AC	底板
	550×350×200	550×350×50	550×350×200	550×350×100	550×350×200	550×350×100	550×350×200	550×350×400	550×350×200	750×200×40
500	●	●							●	●
700~	●	●	●			●				●

消火栓室 (単口用)

H	鉄蓋	調整リング	上部壁A	中部壁B		下部壁C			下部壁AC	底板
	550×350×200	550×350×50	550×350×200	550×350×100	550×350×200	550×350×100	550×350×200	550×350×400	550×350×200	750×200×40
500	●	●							●	●
700~	●	●	●			●				●

注：土被りH=800以上の消火栓・空気弁室については、両フランジ短管にて消火栓・空気弁（補修弁含む）の設置高を調整するため、弁室の高さ（底高）は補修弁の下あたりになるように調整すること。

仕切弁室 (φ75~φ100)

H	鉄蓋	上部壁A		中部壁B				下部壁C		上下部壁AC		底板
	φ216型	φ250×150	φ250×200	φ250×100	φ250×150	φ250×200	φ250×300	φ250×φ350×200	φ250×φ350×300	φ250×φ350×150	φ250×φ350×300	φ250×40
500	● ○									● ○		● ○
600	● ○									● ○		● ○
700	● ○	○	●					● ○				● ○
800	● ○	○	●						● ○			● ○
900	● ○	○	●	● ○					● ○			● ○
1000	● ○		● ○	○		●			● ○			● ○
1200	● ○		● ○	● ○		○	●		● ○			● ○
1300	● ○		● ○		○	●	● ○		● ○			● ○

仕切弁室 (φ150~φ200)

H	鉄蓋	上部壁A		中部壁B				下部壁C		上下部壁AC		底板
	φ240型	φ250×150	φ250×200	φ250×100	φ250×150	φ250×200	φ250×300	φ250×φ350×200	φ250×φ350×300	φ250×φ350×150	φ250×φ350×300	φ250×40
600	● ○									● ○		● ○
700	● ○									● ○		● ○
800	● ○		●					●		● ○		● ○
900	● ○	○	●						● ○			● ○
1000	● ○		● ○	●					● ○			● ○
1200	● ○		● ○		○	●			● ○			● ○

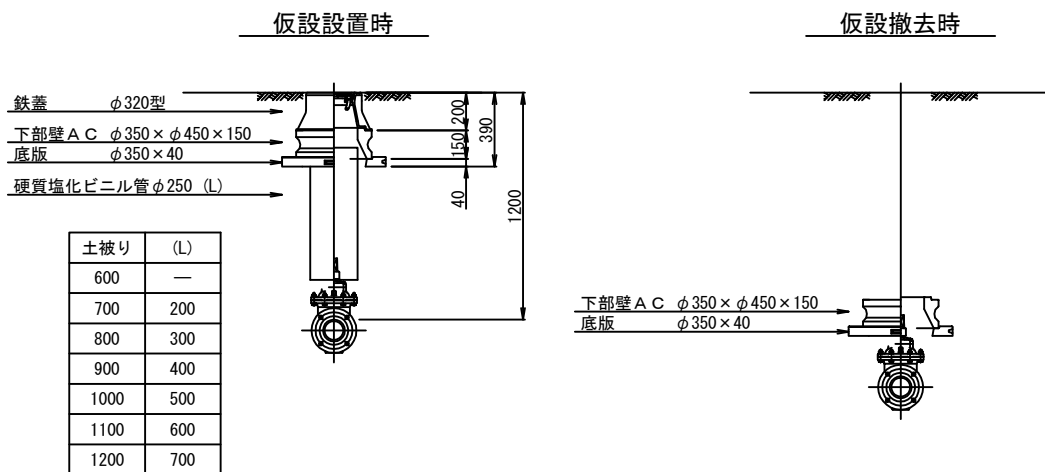
仕切弁室 (φ250~φ300)

H	鉄蓋	上部壁A		中部壁B				下部壁C		上下部壁AC		底板
	φ320型	φ350×150	φ350×200	φ350×100	φ350×150	φ350×200	φ350×300	φ350×φ450×200	φ350×φ450×300	φ350×φ450×150	φ350×φ450×300	φ350×40
700	● ○									● ○		● ○
800	● ○									○	●	● ○
900	● ○	●						●			○	● ○
1000	● ○	●	○					○				● ○
1100	● ○	●	○	●					● ○			● ○
1200	● ○	●	○	○		●			● ○			● ○
1300	● ○	●	○			○	●		● ○			● ○

仕切弁室 (φ350)

H	鉄蓋	上部壁A		中部壁B				下部壁C		上下部壁AC		底板
	φ320型	φ350×150	φ350×200	φ350×100	φ350×150	φ350×200	φ350×300	φ350×φ450×200	φ350×φ450×300	φ350×φ450×150	φ350×φ450×300	φ350×40
1000	○									○		○
1200	○	○							○			○
2400	○		○			○	○×3		○			○

仮設仕切弁室標準図



土被り	(L)
600	—
700	200
800	300
900	400
1000	500
1100	600
1200	700

注：組合わせは、仕様書及び表の通りとする。  
鉄蓋は、市名・市章入りとする。  
レジンコンクリート製とする。

参考図

工 事 名	老朽管布設替工事(黒松線)		
施工箇所名	志摩市阿児町国府地内		
図面の種類	弁室据付標準図		
縮 尺	図示	図面番号	5
志 摩 市 上 下 水 道 部			